



日本の情報科学専門学校、学校としては世界で初めて (ISC)²®のSSCP[®]CBK[®]をカリキュラムに導入

(ISC)²と情報科学専門学校が協力して、
新しい世代の情報セキュリティ認定プロフェッショナルの需要に対応

東京、2010年6月17日—全世界に6万8,000人を超える認定資格保持者を抱え、情報セキュリティプロフェッショナルのキャリア全体を通じた教育と認定制度におけるグローバルリーダーである非営利団体(ISC)²®(アイエスシースクエア)は本日、日本の情報科学専門学校が(ISC)²の提供するSSCP(Systems Security Certified Practitioner)の資格取得に向けて、情報セキュリティに関する内容の概要を網羅しているCBKを、情報セキュリティを学んでいる同校の4年生のカリキュラムに組み込むことを発表しました。情報セキュリティを専攻する学生は、2010年の第二学期から、国際的な認定資格取得に向けた学習の支援を目的とした本コースの履修が義務付けられます。本事例は、SSCP CBKが大学および専門学校のカリキュラムに導入された初の事例でもあります。

日本の情報科学専門学校(<http://isc.iwasaki.ac.jp/>)は1983年に設立され、2004年4月には情報セキュリティ学科を設立して4年制のカリキュラムを導入するなど、日本における情報セキュリティ教育の草分け的存在となっています。同校は、法律や管理業務、ネットワーク、プログラミング、およびハードウェアを含む情報セキュリティ分野の内容を網羅する、情報技術に関する4年制の包括的な履修プログラムを提供しています。同学科では、同校の運営組織である岩崎学園によって2004年に設立された情報科学専門学校において学ぶ機会も提供しています。

(ISC)²は2010年4月に情報科学専門学校との間で学術提携契約を締結しました。本契約の一環として、公認かつ有資格の(ISC)²の講師が、同校の履修コースにおいて(ISC)²の公式の教材を使用することになります。SSCPであり、同校の教師である小野寺栄吉氏は、本履修コースにおけるSSCPの有資格の講師として認定されています。本履修コースは週2回の必修科目としてスケジュールが組まれており、合計で30時間の講義が行われます。本履修コースは、情報セキュリティを学んでいる4年生向けに2010年の第二学期から開講されます。さらに、有資格のCISSPが非常勤講師として招かれて、学生たちに実用的なアドバイスや、実際の業務における経験を紹介することになっています。学生が本履修コースを修了し、SSCPの試験に合格した場合には、当該学生が必須条件となっている年数分の実務経験を積んだ後に、SSCPの資格が付与されることとなります。

「日本の情報科学専門学校の情報セキュリティ学科は、情報セキュリティに関する知識やベストプラクティスに対して、全体的かつ包括的なアプローチを行っています」と同校の教務部長の川上隆氏は述べています。「本校では、世界的なSSCPの認定資格をカリキュラムに導入することで、本校の



学生が情報セキュリティ分野におけるキャリアの第一歩を踏み出すのに必要な知識やスキルを身につけていることを証明して、就職市場において競争優位性を持てるようにしています。」

「日本政府の情報セキュリティ政策会議が指摘しているように、企業のセキュリティを担当する専門家が不足している可能性があります」と、(ISC)²のエグゼクティブ・ディレクターであるW. Hord Tipton, CISSP-ISSEP、CAP、CISAは述べています。「情報科学専門学校との間で締結した本契約によって、情報セキュリティの認定プロフェッショナルを育てる上で一役買えるものと確信しています。日本でも名高い情報科学専門学校との間でこのような協力関係を構築できたことを光栄に思います。今回の契約により、世界中の他の学術機関が、カリキュラムに(ISC)²のSSCP CBKを導入することの重要性を認識してくれるものと期待しています。」

(ISC)²は日本におけるSSCPの試験の運営を2009年9月から開始しており、その試験は日本語と英語を併記した形で実施されています。SSCPの認定資格は、情報セキュリティ市場におけるニーズに対応し、情報セキュリティのオペレーターや、情報セキュリティの戦略を策定する人員を認証するために設立されたものです。SSCPの資格は、資格保持者の情報セキュリティシステムにおける技術導入に関する習熟度と、情報セキュリティに関する方針を策定する管理者や経営陣と協力する能力を証明するものです。SSCPの資格を認定されるには、以下の事柄が求められます。

- SSCP の試験に合格すること
- SSCP CBK の 7ドメインの内いずれか 1ドメインにおいて、最低一年間の専門家としての経験を有していることを示すこと
- 正しく記述されたエンドースメント(推薦状)を提出すること
- 直近の英文職務経歴書を提出すること
- 監査対象に選出された受験者は、自身が提示している専門家としての経験に関する監査に合格すること

より詳しい情報に関しては、SSCP のパンフレットや、(ISC)² の日本語のウェブサイト (<https://www.isc2.org/japan>) をご参照ください。

情報科学専門学校について

1983年設立。神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町に所在し、高度専門士の資格を得られる4年制の履修制度を設けて、専門性の高いIT技術者の開拓に貢献しています。同校にはIT関連の履修コースとビジネス関係の履修コースを含め、8つの学科があります。情報科学専門学校や幼稚園を運営し、文化事業や生涯教育事業などを手掛ける岩崎学園グループの一員。<http://isc.iwasaki.ac.jp/>



(ISC)²について

(ISC)²は、世界135カ国以上で約70,000人の認定情報セキュリティプロフェッショナルの会員を擁する、最大級の非営利会員団体です。(ISC)²は、代表的な資格として世界中で認知されているCertified Information Systems Security Professional (CISSP®)およびその上位資格、またCertified Secure Software Lifecycle Professional (CSSLP®)、Certification Authorization Professional (CAP®)、Systems Security Certified Practitioner (SSCP®)の認定を行っています。これらの認定資格は、IT関連資格としては初めて、個人認証制度に対するグローバル基準のベンチマークであるANSI/ISO/IEC 標準17024の認証を取得しています。(ISC)²はまた、情報セキュリティ知識を体系化したCBK®に基づき、教育プログラムやサービスを提供しています。詳しくは、<http://www.isc2.org>をご覧ください。

###

© 2010, (ISC)² Inc. (ISC)², CISSP, ISSAP, ISSMP, ISSEP, CSSLP, CAP, SSCP 並びにCBK は(ISC)², Inc.の商標です。

(ISC)²に関する最新情報は、Twitter (<https://twitter.com/ISC2>)およびYouTube(<http://www.youtube.com/isc2tv>)でも提供しております。

報道機関からのお問い合わせ:

衣川 俊章
(ISC)² Japan
(81) -3-6757-0138
tkinugawa@isc2.org